



日本一のボケの花

きらっと発見

明るい花色と優美な抱え咲きが特徴の“ボケ”は新潟発の全国ブランドである。

その“ボケ”の日本一の産地が小須戸地区である。日本一になったきっかけは、農閑期の作業として接木技術が開発・発展したためという。

毎年3月に“うららこすど”で開催される“日本ボケ展”には多くの愛好家が集まる。



- ★私たちが訪問したのは4月で、残念ながら“鉢物”は終わっている時期でしたが“日本ボケ公園”のボケは満開で、とてもきれいでした。
- ★お話の中で、一鉢〇十万円にもなる盆栽もあるということに驚きました。
- ★売店には、私たちでも買える値段で、かわいい鉢植えがたくさん売られていました。
- ★接木技術について、もう少し調べてみたいと思いました。



綿織物“小須戸縞”

きらっと発見

かつて、小須戸の基幹産業であった綿織物“小須戸縞”の工場が当時のまま、小須戸地区に残されている。

小須戸縞を生産するには高い技術力が必要で、現在では担い手が高齢化したため、商品の生産は行われていない。

しかし、現在の製品にはない風合いを求めて、全国からの問い合わせがあるという。



- ★今でも機械がしっかり動くことに驚きました。
- ★ワイヤーや歯車で工場全体がつながっていて面白かったです。
- ★機械が動いたときのギシギシ音が、当時は街中に聞こえていたことを想像すると、不思議な気分になりました。
- ★今でも、デザイナーから問い合わせがあると聞いて凄いと思いました。

地域貢献にチャレンジ！～中学生の私たちも地域の一員～

小須戸地区では、「中学生は地域の一員・地域の宝」を合い言葉に、いろいろな地域活動で、中学生に活躍の場が与えられています。地域のこのスタンスも“小須戸の宝もの”です。



きらっと発見

- ① 地域ゆかりの作家の作品展示
- ② コミ教と合同の避難所運営ゲーム(HUG)
- ③ まちなかコンサート訪問演奏
- ④ コミ協と合同の避難所開設訓練
- ⑤ 親水公園クリーン作戦
- ⑥ 一人暮らしのお年寄りへのおせち配食
- ⑦ 矢代田駅周辺美化作業
- ⑧ 地域の祭りでボランティア

- ★ちゃんとできるか不安だったが、喜んでもらって不安がなくなった。
- ★イベントだけでなく日常的に行えるものがあることに気付いた。
- ★ボランティアを自分からできる自信がついた。
- ★自分でできることがたくさんあることがわかった。
- ★ボランティアは「元気をあげる」と同時に「元気をもらえる」。